

令和2年度

公共用水域水質及び地下水質測定計画書(案)

宮城県環境生活部

令和2年度公共用水域水質測定計画

1 目的

この計画は、水質汚濁防止法第15条第1項及び第16条第1項及び第2項に基づき、「公共用水域の常時監視」を行うために、関係機関と協議の上、宮城県知事(以下「知事」という。)が作成したものである。

2 計画の内容

計画に基づき実施される測定、地点・採水部位・項目・回数(頻度)・期間(時期)等については、別表のとおりとする。

3 測定方法

検体の測定方法(分析方法)は「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和46年12月28日付け環境庁告示第59号)、「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法」(昭和49年9月30日環境庁告示第64号)、「上水試験方法」、「工場排水試験方法(JISK0102)」等の公定法によるものとする。

4 測定結果の送付

各測定機関の長は、測定終了後その測定結果を、翌年度4月末までに知事に送付するものとする。

5 測定結果の公表

知事は、測定結果をとりまとめ、水質汚濁防止法第17条に基づき公表するものとする。

【参考】

○ 令和2年度 公共用水域水質測定計画総括表

水域種別		河川	湖沼	海域	合計
水域数	測定水域	74	35	24	133
	類型指定水域	59	12	24	95
測定地点数	環境基準点	69	12	47	128
	補助測定点	53	2	59	114
	その他の地点	20	23	0	43
	計	142	37	106	285
総検体数(延回数)		1,634	392	1,118	3,114

○ 令和2年度 調査機関等別公共用水域水質測定計画

調査機関・分析機関	河川			湖沼			海域			合計		
	測定水域数	測定地点数	測定検体数	測定水域数	測定地点数	測定検体数	測定水域数	測定地点数	測定検体数	測定水域数	測定地点数	測定検体数
東北地方整備局・東北技術事務所	14	27	324	3	3	108				17	30	432
県環境対策課	45	65	678	26	28	212	23	61	578	94	154	1,468
県水産技術総合センター							3	12	186	3	12	186
仙台市	20	43	568	6	6	72	4	26	312	30	75	952
気仙沼市							2	4	24	2	4	24
名取市	1	2	12				1	3	18	2	5	30
多賀城市	1	1	12							1	1	12
岩沼市	2	4	40							2	4	40
合計	83	142	1,634	35	37	392	33	106	1,118	151	285	3,144

※ 同じ水域を複数機関で測定しているため、総括表の「測定水域数」と一致しない。

○ 令和2年度 調査機関等別公共用水域水質測定計画(測定地点数内訳)

調査機関・分析機関	河川			湖沼			海域			合計			総計
	環境基準点	補助測定点	その他の地点	環境基準点	補助測定点	その他の地点	環境基準点	補助測定点	その他の地点	環境基準点	補助測定点	その他の地点	
東北地方整備局・東北技術事務所	17	10		3						20	10		30
県環境対策課	43	15	7	7	2	19	43	18		93	35	26	154
県水産技術総合センター								12			12		12
仙台市	9	22	12	2		4	4	22		15	44	16	75
気仙沼市								4			4		4
名取市		2						3			5		5
多賀城市		1									1		1
岩沼市		3	1								3	1	4
合計	69	53	20	12	2	23	47	59	0	128	114	43	285

生活環境項目、その他の項目の分析方法

項目	略記	定量・報告下限値 (mg/L)	検水量 ※1 (mL)	測定方法
水素イオン濃度	pH	-	50	日本産業規格(以下「JIS」という。)K0102 12.1 に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法
溶存酸素濃度	DO	0.5	100	JISK0102 32 に定める方法又は隔膜電極若しくは光学式センサを用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法
生物化学的酸素要求量	BOD	0.5	200	JISK0102 21 に定める方法
化学的酸素要求量(アルカリ性法)	COD	0.5	50	環境庁告示第59号 別表2 2ア 備考2に掲げる方法(※3)
化学的酸素要求量(酸性法)	COD	0.5	100	JISK0102 17 に定める方法(ただし、B類型の工業用水及び水産2級のうちノリ養殖の利水点における測定方法はアルカリ性法)
浮遊物質	SS	1	1000	環境庁告示第59号付表9に掲げる方法
大腸菌群数	MPN	1.8	100	環境庁告示第59号別表2 1 (1)ア備考4に掲げる最確数による定量法
ふん便性大腸菌群数	MFC	2個/100mL	50	環境省通知法
n-ヘキサン抽出物質	油分等	0.5	4000	環境庁告示第59号付表14に掲げる方法
アンモニア性窒素	NH ₄ -N	0.05	200	JISK0102 42.2又は42.6 に定める方法
全窒素	T-N	0.05	50	JISK0102 45.2、45.3、45.4又は45.6 (JIS45の備考3を除く。)に定める方法(※2)
リン酸態リン	PO ₄ -P	0.005	20	JISK0102 46.1 に定める方法
全リン	T-P	0.003	50	JISK0102 46.3 (JIS46の備考9を除く。)に定める方法
全亜鉛	T-Zn	0.001	50	JISK0102 53 に定める方法
ノニルフェノール		0.00006	500	環境庁告示第59号付表11に掲げる方法
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	LAS	0.0006	500	環境庁告示第59号付表12に掲げる方法
トリハロメタン生成能	THM	0.0004 0.001	2000 200	上水試験方法 に定める方法 環境庁通知法 に掲げる方法
塩化物イオン	Cl ⁻	2	100	JISK0102 35 に定める方法又は上水試験方法 に定める方法
硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	5	100	JISK0102 41 に定める方法
陰イオン界面活性剤	MBAS	0.05	100	JISK0102 30.1 に定める方法
クロロフィル-a	Chl-a	0.001	2000	海洋観測指針・蛍光光度法 に掲げる方法又は海洋観測指針・吸光光度法 に掲げる方法 上水試験方法 に定める方法
		0.002	1000	
全有機炭素	TOC	0.5	100	JISK0102 22.1又は22.2 に定める方法
色度	色	1度	50	上水試験方法 に定める方法

※1 参考値。

※2 気仙沼市実施分にあたっては排水基準の分析法によるもの。

※3 水産技術総合センター、気仙沼市担当地点、仙台市担当の仙台港(乙)地点及びB類型のノリ養殖を行っている西浜、馬放島西、御殿崎-1で採用。

健康項目の分析方法

項目	略記	定量・報告 下限値 (mg/L)	検水量 ※1 (mL)	測定方法	環境基準	
カドミウム	Cd	0.001	100 又は50	日本産業規格(以下「JIS」という。)K0102の55.2、55.3又は55.4に定める方法	0.003mg/L以下	
全シアン	CN	0.1	50	JISK0102の38.1.2(JIS38の備考11を除く。以下同じ。)及び38.2に定める方法、JISK0102の38.1.2及び38.3に定める方法、JISK0102の38.1.2及び38.5に定める方法又は環境庁告示第59号付表1に掲げる方法	検出されないこと	
鉛	Pb	0.005	100 又は50	JISK0102の54に定める方法	0.01mg/mL以下	
六価クロム	Cr ⁶⁺	0.02	50	JISK0102の65.2(JIS65.2.7を除く。)に定める方法(ただし、JIS65.2.6に定める方法により汽水又は海水を測定する場合にあっては、JISK0170-7の7のa)又はb)に定める操作を行うものとする。)	0.05mg/L以下	
砒素	As	0.005	50	JISK0102の61.2、61.3又は61.4に定める方法	0.01mg/L以下	
総水銀	T-Hg	0.0005	200	環境庁告示第59号付表2に掲げる方法	0.0005mg/L以下	
アルキル水銀	R-Hg	0.0005	200	環境庁告示第59号付表3に掲げる方法	検出されないこと	
PCB	PCB	0.0005	1000	環境庁告示第59号付表4に掲げる方法	検出されないこと	
ジクロロメタン	有機塩素	0.002	10	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	0.02mg/L以下	
四塩化炭素	“(CCl ₄)	0.0002	10	JISK0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.002mg/L以下	
1,2-ジクロロエタン	有機塩素	0.0004	10	JISK0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法	0.004mg/L以下	
1,1-ジクロロエチレン	有機塩素	0.002	10	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	0.1mg/L以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	有機塩素	0.004	10	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	0.04mg/L以下	
1,1,1-トリクロロエタン	“(MC)	0.0005	10	JISK0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	1mg/L以下	
1,1,2-トリクロロエタン	有機塩素	0.0006	10	JISK0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.006mg/L以下	
トリクロロエチレン	“(TCE)	0.001	10	JISK0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.01mg/L以下	
テトラクロロエチレン	“(PCE)	0.0005	10	JISK0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.01mg/L以下	
1,3-ジクロロプロペン	農薬(D-D)	0.0002	10	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	0.002mg/L以下	
チウラム	農薬	0.0006	1000 又は500	環境庁告示第59号付表5に掲げる方法	0.006mg/L以下	
シマジン	農薬	0.0003	1000 又は200	環境庁告示第59号付表6の第1又は第2に掲げる方法	0.003mg/L以下	
チオベンカルブ	農薬	0.001	1000 又は200	環境庁告示第59号付表6の第1又は第2に掲げる方法	0.02mg/L以下	
ベンゼン	C ₆ H ₆	0.001	10	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	0.01mg/L以下	
セレン	Se	0.002	25	JISK0102 67.2、67.3又は67.4に定める方法	0.01mg/L以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	NO ₂₊₃ -N	0.015			10mg/L以下	
	硝酸性窒素	NO ₃ -N	0.01	50	JISK0102 43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6に定める方法、海洋観測指針に定める方法	
	亜硝酸性窒素	NO ₂ -N	0.005	50	JISK0102 43.1に定める方法及び海洋観測指針に定める方法	
ふっ素	F	0.08	50	JISK0102 34.1(JIS34の備考1を除く。)若しくは34.4(妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合にあっては、蒸留試薬溶液として、水約200mlに硫酸10ml、リン酸60ml及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセリン250mlを混合し、水を加えて1.000mlとしたものを用い、JISK0170-6の6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)に定める方法又はJIS34.1.1c(注(2)第三文及びJIS34の備考1を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合にあっては、これを省略することができる。)及び環境庁告示第59号付表7に掲げる方法	0.8mg/L以下	
ほう素	B	0.02	50	JISK0102 47.1、47.3又は47.4に定める方法	1mg/L以下	
1,4-ジオキサン		0.005	10	環境庁告示第59号付表8に掲げる方法	0.05mg/L以下	

※1 参考値

要監視項目の分析方法

項 目	略記	定量・報告 下限値 (mg/L)	検水量 ※1 (mL)	測 定 方 法	指 針 値
クロロホルム		0.006	250	日本産業規格(以下「JIS」という。)K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	0.06mg/L以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン		0.004	250	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	0.04mg/L以下
1,2-ジクロロプロパン		0.006	250	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	0.06mg/L以下
p-ジクロロベンゼン		0.02	250	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	0.2mg/L以下
イソキサチオン		0.0008	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.008mg/L以下
ダイアジノン		0.0005	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.005mg/L以下
フェントロチオン	MEP	0.0003	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.003mg/L以下
イソプロチオラン		0.004	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.04mg/L以下
オキシ銅(有機銅)		0.004	1000	環水規第121号付表2に掲げる方法	0.04mg/L以下
クロロタロニル	TPN	0.005	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.05mg/L以下
プロピザミド		0.0008	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.008mg/L以下
EPN	EPN	0.001	100	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.006mg/L以下
ジクロロボス	DDVP	0.0008	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.008mg/L以下
フェノブカルブ	BPMC	0.003	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.03mg/L以下
イプロベンホス	IBP	0.0008	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.008mg/L以下
クロルニトロフェン	CNP	0.0001	1000	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	-
トルエン		0.06	250	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	0.6mg/L以下
キシレン		0.04	250	JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	0.4mg/L以下
フタル酸ジエチルヘキシル		0.006	40	環水規第121号付表3の第1又は第2に掲げる方法	0.06mg/L以下
ニッケル		0.001	200	JISK0102 59.3に定める方法又は環水規第121号付表4若しくは付表5に掲げる方法	-
モリブデン		0.007	200	JISK0102 68.2に定める方法又は環水規第121号付表4若しくは付表5に掲げる方法	0.07mg/L以下
アンチモン		0.002	100	平成16年3月環水企発第040331003号・環水土発第040331005号付表5の第1、第2又は第3に掲げる方法	0.02mg/L以下
塩化ビニルモノマー		0.0002	50	平成16年3月環水企発第040331003号・環水土発第040331005号(水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について)付表1に掲げる方法	0.002mg/L以下
エピクロロヒドリン		0.00004	50	平成16年3月環水企発第040331003号・環水土発第040331005号(水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について)付表2に掲げる方法	0.0004mg/L以下
全マンガン		0.02	200	JISK0102の56.2、56.3、56.4又は56.5に定める方法(準備操作は規格によるほか、海水など塩類を多く含む試料を分析する場合にあっては、必要に応じ試料を希釈することとする。)	0.2mg/L以下
ウラン		0.0002	1000	平成16年3月環水企発第040331003号・環水土発第040331005号付表4の第1又は第2に掲げる方法	0.002mg/L以下

※1 参考値

R2河川①

Table with columns for water domain, river name, measurement point, water quality indicators (BOD, etc.), and various chemical and biological parameters (ammonia, nitrate, etc.).

調査機関：東北地方整備局

Table listing water quality data for the Tohoku Regional Bureau, including river names like 江合川 and 北上川, and their respective measurement points and results.

調査機関：宮城県（環境対策課）

Large table listing water quality data for Miyagi Prefecture, covering numerous rivers such as 大川, 面瀬川, 津谷川, and 追川, with detailed monitoring data.

令和 2 年度地下水質測定計画

1 目的

この計画は、水質汚濁防止法第 15 条及び第 16 条第 1 項及び第 2 項に基づき「地下水質の常時監視」を行うために、関係機関と協議の上、宮城県知事（以下「知事」という。）が作成したものである。

2 計画の内容

原則として「地下水調査方法」（平成元年 9 月 14 日付け環水管第 189 号）に従い、計画を策定したものである。

計画に基づき実施される調査の種類は、①概況調査（定点方式、ローリング方式）、②汚染井戸周辺地区調査、③継続監視調査とし、地点、項目、回数（頻度）及び期間（時期）等については、別表のとおりとする。

3 測定方法

検体の測定方法（分析方法）は「環境庁告示第 10 号（平成 9 年 3 月 13 日付け）」等の公定法によるものとする。

4 測定結果の送付

各測定機関の長は、測定終了後その測定結果を、翌月末までに知事宛て送付するものとする。

5 測定結果の公表

知事は、測定結果を一定様式にとりまとめ、水質汚濁防止法第 17 条の規定に基づき公表するものとする。

令和 2 年度地下水質測定計画総括表

調査の種類	概況調査		汚染井戸 周辺地区調査※	継続監視 調査	合計
	定点方式	ローリング方式			
総測定地点数	0	34		38	72
調査機関	宮城県	9		25	34
内訳	仙台市	25		13	38
総検査項目数	0	1,226		164	1,390
調査機関	宮城県	261		124	385
内訳	仙台市	965		40	1,005

※概況調査で環境基準超過が確認された場合、その汚染範囲を確認するとともに汚染源の究明を行うために実施。

測定項目の分析方法及び環境基準

項	目	定量・報告下限値 (mg/L)	検水量※ (mL)	測定方法	環境基準 (mg/L)
環境基準	カドミウム	0.001	100又は50	日本産業規格（以下「JIS」という。）K0102の55.2、55.3又は55.4に定める方法	0.003以下
	全シアン	0.1	50	JISK0102の38.1.2（JISK0102の38の備考11を除く。以下同じ。）及び38.2に定める方法、JISK0102の38.1.2、38.3に定める方法又はJISK0102の38.1.2及び38.5に定める方法又は昭和46年12月環境庁告示第59号（水質汚濁に係る環境基準について）（以下「公共用水域告示」という。）付表1に掲げる方法	検出されないこと (0.1以下)
	鉛	0.005	100又は50	JISK0102の54に定める方法	0.01以下
	六価クロム	0.02	50	JISK0102の65.2（JISK0102の65.2.7を除く。）に定める方法（ただし、JISK0102の65.2.6に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合には、JISK0170-7の7のa）又はb）に定める操作を行うものとする。）	0.05以下
	砒素	0.005	50	JISK0102の61.2、61.3又は61.4に定める方法	0.01以下
	総水銀	0.0005	200	公共用水域告示付表2に掲げる方法	0.0005以下
	アルキル水銀	0.0005	200	公共用水域告示付表3に掲げる方法	検出されないこと (0.0005以下)
	P C B	0.0005	1,000	公共用水域告示付表4に掲げる方法	検出されないこと (0.0005以下)
	ジクロロメタン	0.002	10	JISK0125の5.1.5.2又は5.3.2に定める方法	0.02以下
	四塩化炭素	0.0002	10	JISK0125の5.1.5.2.5.3.1.5.4.1又は5.5に定める方法	0.002以下
	クロロエチレン	0.0002	10	平成9年3月環境庁告示第10号（地下水の水質汚濁に係る環境基準について）付表に掲げる方法	0.002以下
	1,2-ジクロロエタン	0.0004	10	JISK0125の5.1.5.2.5.3.1又は5.3.2に定める方法	0.004以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	10	JISK0125の5.1.5.2又は5.3.2に定める方法	0.1以下
	1,2-ジクロロエチレン	0.004	10	シス体にあつてはJISK0125の5.1.5.2又は5.3.2に定める方法 トランス体にあつてはJISK0125の5.1.5.2又は5.3.1に定める方法	0.04以下
	シス体	0.002	10		
	トランス体	0.002	10		
	1,1,1-トリクロロエタン	0.0005	10	JISK0125の5.1.5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	1以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006	10	JISK0125の5.1.5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.006以下
	トリクロロエチレン	0.001	10	JISK0125の5.1.5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.01以下
	テトラクロロエチレン	0.0005	10	JISK0125の5.1.5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	0.0002	10	JISK0125の5.1.5.2又は5.3.1に定める方法	0.002以下	
チウラム	0.0006	1,000又は500	公共用水域告示付表5に掲げる方法	0.006以下	
シマジン	0.0003	1,000又は200	公共用水域告示付表6の第1又は第2に掲げる方法	0.003以下	
チオベンカルブ	0.001	1,000又は200	公共用水域告示付表6の第1又は第2に掲げる方法	0.02以下	
ベンゼン	0.001	10	JISK0125の5.1.5.2又は5.3.2に定める方法	0.01以下	
セレン	0.002	10	JISK0102の67.2、67.3又は67.4に定める方法	0.01以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.015		硝酸性窒素にあつてはJISK0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6に定める方法 亜硝酸性窒素にあつてはJISK0102の43.1に定める方法	10以下
	硝酸性窒素	0.01	50		
	亜硝酸性窒素	0.005	50		
ふっ素	ふっ素	0.08	50	JISK0102の34.1（JISK0102の34の備考1を除く。）若しくは34.4（妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合には、蒸留試薬溶液として、水約200mlに硫酸10ml、りん酸60ml及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセリン250mlを混合し、水を加えて1,000mlとしたものを用い、JISK0170-6の6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。）に定める方法又はJISK0102の34.1.1c）（注(2)第三文及びJISK0102の34の備考1を除く。）に定める方法（懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合に於ては、これを省略することができる。）及び公共用水域告示付表7に掲げる方法	0.8以下
	ほう素	0.02	50	JISK0102の47.1、47.3又は47.4に定める方法	1以下
	1,4-ジオキサン	0.005	10	公共用水域告示付表第8に掲げる方法	0.05以下
水素イオン濃度		50	JISK0102の12.1に定める方法		

※参考値

要監視項目測定分析方法及び指針値

項 目	測 定 方 法	報 告 下 限 値		指針値 (mg/L)
		(mg/L)	記載方法	
1	クロロホルム	0.006	<0.006	0.06以下
2	1, 2-ジクロロプロパン	日本産業規格（以下「JIS」という。）K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法	<0.006	0.06以下
3	p-ジクロロベンゼン		<0.02	0.2以下
4	イソキサチオン		<0.0008	0.008以下
5	ダイアジノン	平成5年4月環水規第121号（水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について）付表1の第1又は第2に掲げる方法	<0.0005	0.005以下
6	フェニトロチオン(MEP)		<0.0003	0.003以下
7	イソプロチオラン		<0.004	0.04以下
8	オキシ銅(有機銅)	環水規第121号付表2に掲げる方法	<0.004	0.04以下
9	クロロタロニル(TPN)	環水規第121号付表1の第1又は第2に掲げる方法	<0.005	0.05以下
10	プロピザミド		<0.0008	0.008以下
11	EPN		<0.001	0.006以下
12	ジクロロボス(DDVP)		<0.0008	0.008以下
13	フェノブカルブ(BPMC)		<0.003	0.03以下
14	イプロベンホス(IBP)		<0.0008	0.008以下
15	クロルニトロフェン(GNP)		<0.001	—
16	トルエン		JISK0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法	<0.06
17	キシレン	<0.04		0.4以下
18	フタル酸ジエチルヘキシル	環水規第121号付表3の第1又は第2に掲げる方法	<0.006	0.06以下
19	ニッケル	JIS59.3に定める方法又は環水規第121号付表4若しくは付表5に掲げる方法	<0.001	—
20	モリブデン	JIS68.2に定める方法又は環水規第121号付表4若しくは付表5に掲げる方法	<0.007	0.07以下
21	アンチモン	JIS62.2に定める方法又は環水規第121号付表6に掲げる方法	<0.002	0.02以下
22	エピクロロヒドリン	平成16年3月環水企発第040331003号・環水土発第040331005号（水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について）付表2に掲げる方法	<0.00004	0.0004以下
23	全マンガン	JISK0102の56.2、56.3、56.4又は56.5に定める方法（準備操作はJISによるほか、海水など塩類を多く含む試料を分析する場合には、必要に応じ試料を希釈することとする。）	<0.02	0.2以下
24	ウラン	平成16年3月環水企発第040331003号・環水土発第040331005号付表4の第1又は第2に掲げる方法	<0.0002	0.002以下

※場合により定量・報告下限値を変更することがある。

宮城県（仙台市分除く）

1 概況調査（ローリング方式）（令和2年度）

測定地点名	地図メッシュコード	採水頻度		環境基準項目														その他の項目																	
		地点数	回数	カドミウム	鉛	全銅	六価クロム	砒素	アルキル水銀	P	ジクロロメタン	四塩化炭素	クロロエチレン	ジクロロエタン	ジクロロエチレン	シクロロエチレン	ジクロロエチレン		トリクロロエチレン	クロロエチレン	テトラ	ジクロロプロペン	1,3-ジブチルジシラン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素及び	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサソ				
蔵王町巴田	5740-15-20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
川崎町前川	5740-25-00	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
山元町眞庭	5640-76-08	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
松島町高城	5741-40-64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
利府町赤沼	5741-40-02	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大和町吉岡	5740-57-22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
美里町蘭報	5741-60-60	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女川町小兼浜	5741-53-26	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
気仙沼市本吉町角柄	5841-13-44	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

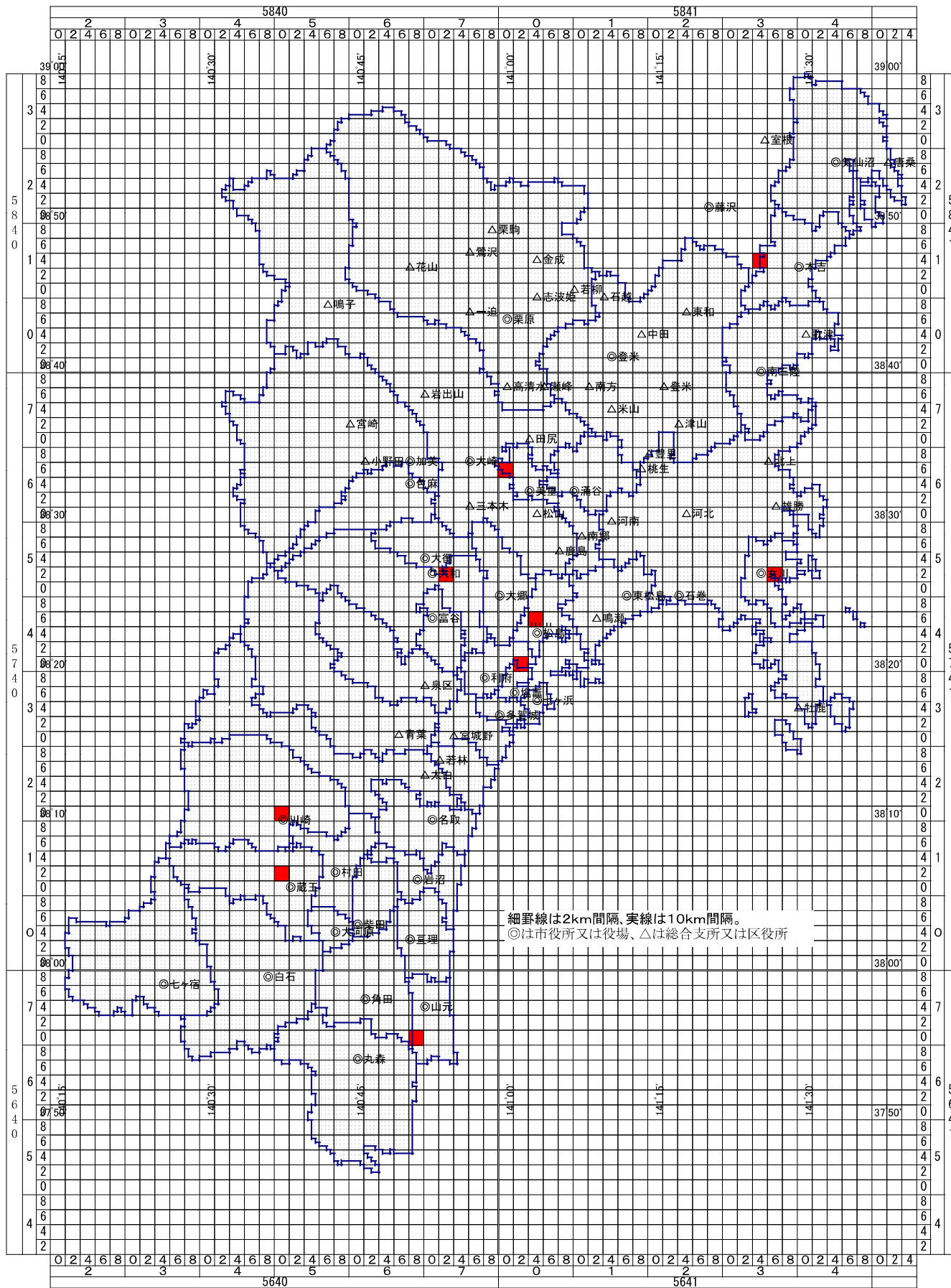
※宮城県においては、うち3ヶ所について、ダイオキシソシン類もあわせて実施する。

2 継続監視調査（令和2年度）

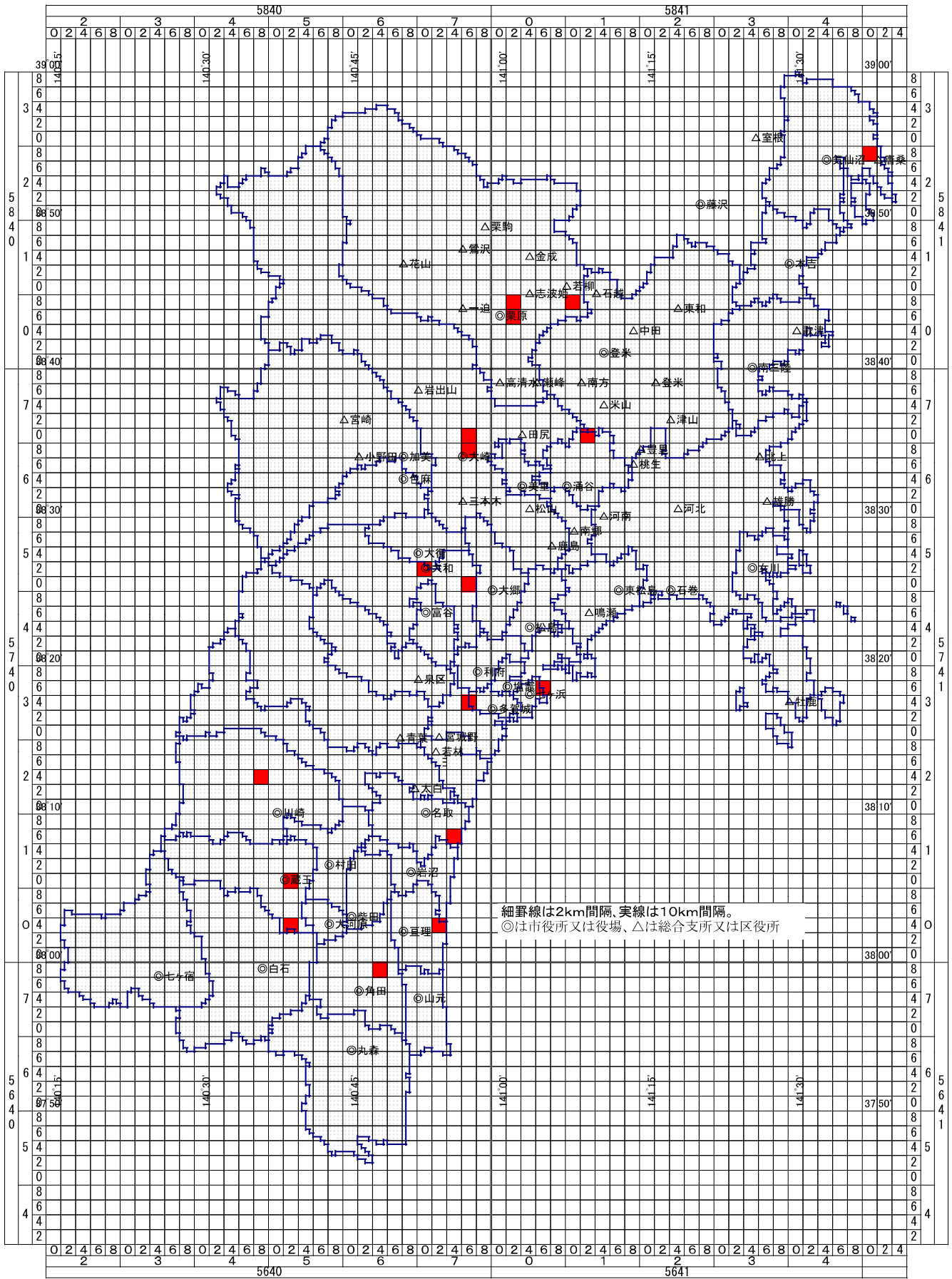
測定地点名	地図メッシュコード	採水頻度		環境基準項目														その他の項目																		
		地点数	回数	カドミウム	鉛	全銅	六価クロム	砒素	アルキル水銀	P	ジクロロメタン	四塩化炭素	クロロエチレン	ジクロロエタン	ジクロロエチレン	シクロロエチレン	トリクロロエチレン		クロロエチレン	テトラ	ジクロロプロペン	1,3-ジブチルジシラン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素及び	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサソ						
角田市佐倉	5640-76-84	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
蔵王町巴田	5740-15-02	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
蔵王町宮	5740-05-42	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
川崎町川内	5740-24-48	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
七ヶ浜町吉田浜	5741-30-66	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大和町吉岡	5740-57-20	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
大和町鶴巻大平	5740-57-06	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
多賀城市新田	5740-37-46	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
亶理町荒浜	5740-07-42	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
名取市下糟田	5740-17-64	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大崎市古川福浦	5740-77-06	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大崎市古川大宮	5740-67-86	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
涌谷町小室	5741-00-62	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
栗原市築館総沢	5841-00-62	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栗原市志波姫塚口	5841-00-82	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
気仙沼市唐桑町浦	5841-25-80	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	

※地図メッシュコードはP19、P20のメッシュ地図での地点を表すもの。

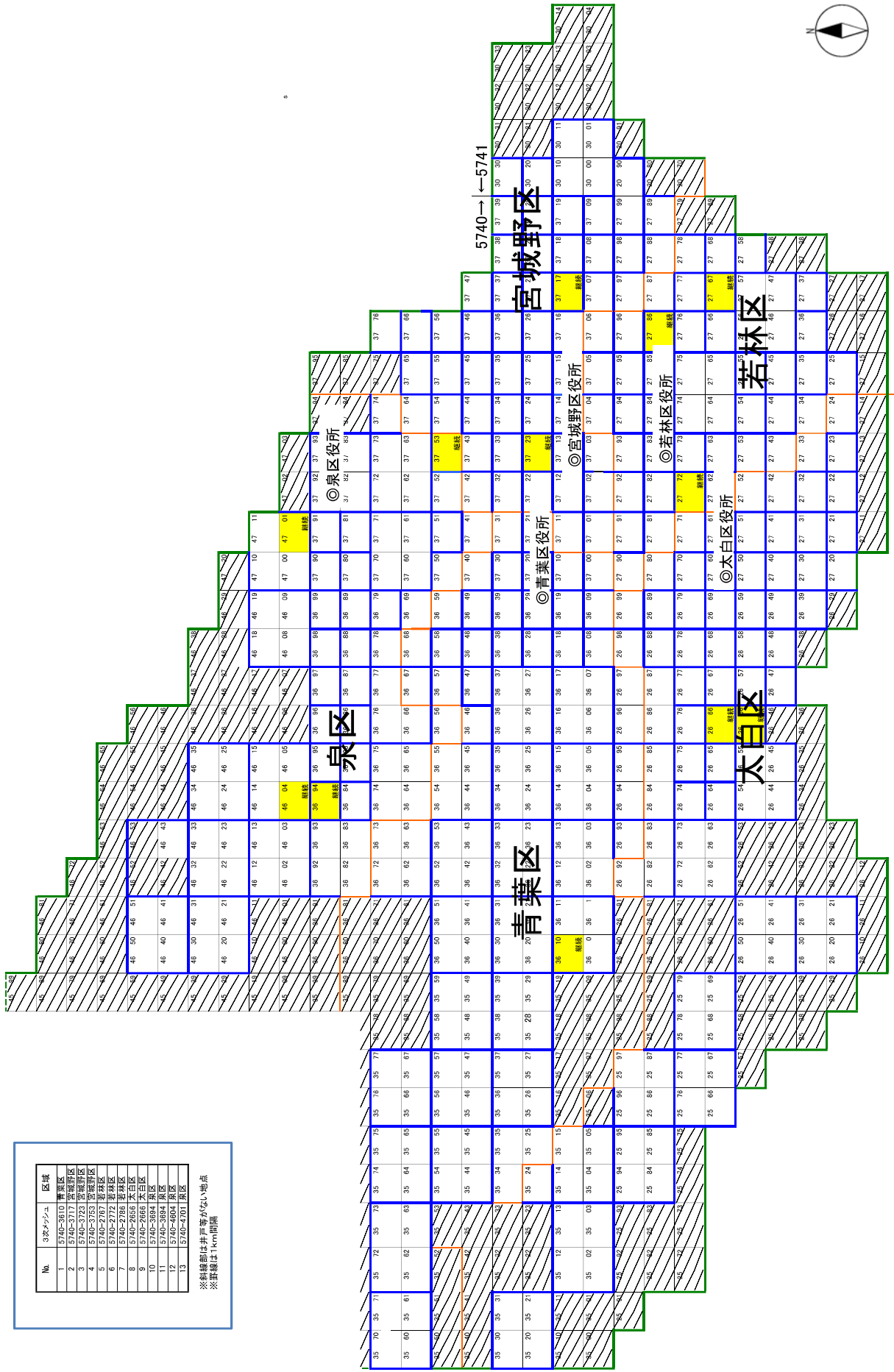
令和2年度 概況調査予定地点図 (仙台市除く)



令和2年度 継続監視調査予定地点図（仙台市除く）



令和2年度仙台市継続監視調査予定地点図



No	3次メッシュ	区様
1	5740-3010	青葉区
2	5740-3020	青葉区
3	5740-3120	宮城野区
4	5740-3150	宮城野区
5	5740-2167	若林区
6	5740-2172	若林区
7	5740-2168	若林区
8	5740-2650	太白区
9	5740-2651	太白区
10	5740-2652	太白区
11	5740-2653	太白区
12	5740-4604	泉区
13	5740-4701	泉区

※路線部は非戸等がない地点
※距離は1km間隔